

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市次世代育成支援対策行動計画	
基本政策(大項目)	1	健康で安心して暮らせる鳴門づくり	事業期間	開始	平成 ▼ 17年度
政策(中項目)	1	子どもいきいき元気都市なると			終期
(小項目)	児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進			
基本事業	3	子育て家庭への支援			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内において「育児の援助をしたい人」と「育児の援助を受けたい人」を会員として登録し、育児の相互援助を行う。
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	依頼会員と提供会員、両方会員のそれぞれの役割や理解を得て地域おける子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりを目指す
成果目標	事業目標の達成度合	指標名
		年度登録会員数(依頼・提供・両方会員) 580 620 640 660 680 件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	ファミリー・サポート・センター事業を財団法人福祉ネットワークに委託をし実施した。市広報、市のホームページに掲載、市内保育所・幼稚園・小学校・児童クラブにポスターの掲示をしたり、乳幼児医療助成事業の申請時にリーフレットなどを配布をおこなった。ファミリー・サポート・センターの主催の交流会の開催に市民の方に広く参加していただき、市民への周知と会員増加の推進をした。
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
指標名		
活動指標	1 年間活動件数	22年度実績 2,639 23年度実績 2,739 24年度目標 2,800 25年度目標 2,800 26年度目標 2,800 件
	2 交流会	4 3 4 4 4 回数
成果指標	年度登録会員数(依頼・提供・両方会員)	585 634 — — — 件
	目標達成率(実績/目標)	102.3 — — — %

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位
事業費	(財源内訳の合計)		8,800	8,800	8,800	8,800	千円
	財源内訳	国	1,400	2,200	2,200	2,200	
		県	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
	一般財源	7,400	6,600	6,600	6,600		
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		65	65	65	65	65	人
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
	臨時職員等(2,012千円/人)						
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		8,865	8,865	8,865	8,865	8,865	千円

【事務事業名：ファミリーサポートセンター事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	ファミリーサポートセンター事業を財団法人福祉ネットワークに委託し実施した。事業の広報の方法として、市広報、市のホームページや市内保育所・幼稚園・小学校・児童クラブにポスターの掲示をしたり、また乳幼児医療助成事業の申請時にリーフレットなどの配布を行っている。ファミリーサポートセンターの主催の交流会等の開催にも多く市民の方に広く参加していただき、市民への周知と会員増加の推進をはかる。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	保護者が安心して働くために子育てを支援していくことは必要性が高い。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	会員数も活動件数も年々増加をし、多くの市民が活用している定着した事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	委託先は県内6か所のファミリーサポートセンターを運営している事業所である。委託料のほとんどが人件費である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等	仕事と育児の両立ができ、地域における子育て支援ができる環境を提供できるように、さらなる会員数・活動件数の増加を目指す必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成25年度 ▼ 月未定 ▼			
	どのように改革するのか	同事業を知らない市民の方にも知っていただけるよう今後も広報、市ホームページへの掲載やポスターの掲示、リーフレットの配布、交流会等を開催し、広く周知を図っていく。			